

近代日本のポピュリズム—日比谷焼き打ち事件から日米戦争へ

アメリカのトランプ現象、イギリスのEU離脱決定をはじめ、この数年「ポピュリズム」はますます議論の中心となってきました。この現代の政治状況を表現する「ポピュリズム」ですが、それが大衆の人気に基づく劇場型大衆動員政治を意味しているとすれば、日本でもすでに戦前期に経験がありました。日露戦争後の日比谷焼き打ち事件に始まり、怪写真事件、満州事変、五・一五事件、天皇機関説問題、近衛文麿の登場、そして日米開戦へ……。普通選挙と二大政党制が、どのようにして政党の崩壊と戦争という破滅に至ったのか。また、マスメディアはいかに振舞い、その結果はどのような事態をもたらしたのか。現代日本の民主主義をさらに発展させるために、戦前のポピュリズムに何を学び、なにを抜本的に改めなければならないのかについて、近現代史の見取り図の見直しを通してお話します。

講師 筒井 清忠（帝京大学文学部長、東京財団政策研究所上席研究員）

1948年生まれ。大分県出身。京都大学大学院文学研究科博士課程単位修得退学。文学博士。京都大学文学部教授等を経て現職。著書『戦前日本のポピュリズム』（中公新書）『帝都復興の時代—関東大震災以後』（中公文庫）『昭和戦前期の政党政治』（ちくま新書）『満州事変はなぜ起きたのか』（中公選書）『陸軍士官学校事件』（中公選書）『二・二六事件と青年将校』（吉川弘文館）『昭和十年代の陸軍と政治』（岩波書店）『近衛文麿』（岩波現代文庫）、編著『明治史講義【人物篇】』（ちくま新書）『昭和史講義1～3』（ちくま新書）『明治史講義【軍人篇】』（ちくま新書）。



開催概要

- 日時：2018年9月13日（木）19:00～20:30（18:30開場）
- 会場：日比谷図書文化館 地下1階 日比谷コンベンションホール（大ホール）
- 定員：200名（事前申込順、定員に達し次第締切）
- 参加費：1,000円
- 申込方法：ホームページの申込フォーム、電話（03-3502-3340）、来館（1階受付）いずれかにて、
①講座名、②お名前（ふりがな）、③電話番号をご連絡ください。

〈 お問い合わせ先 〉

日比谷図書文化館 広報担当：中澤 nakazawa-hiroyuki@shopro.co.jp / 並木 namiki-yuri@shopro.co.jp

〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園 1-4 TEL：03-3502-3342 / FAX：03-3502-3341

ホームページ：https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/